

令和8年度第2回旭川方面留萌警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年9月15日（火） 午後4時0分から午後5時30分まで

2 開催場所

旭川方面留萌警察署会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 6人（定員6人）

会長 武田 佳彦
副会長 村上 仁美
副委員長 畠山 博、串橋 郁緑、長谷川 亜希子、山本 翔

(2) 警察署員 10人

署長 宮里 竜郎
副署長 原田 英成
警務課長 中村 毅
会計課長 窪田 秀人
生活安全課長 永井 義隆
地域課長 高橋 亨
刑事課長 小野 宏也
交通課長 北村 幸雄
警備課長 山崎 亮
（事務局1人）

4 挨拶

(1) 警察署長挨拶

第1回協議会の開催から本日までの間、海水浴や祭典の開催で管内に多くの方の出入りがあったが、大きな事案の発生がなかったのは管内の住民の方の安全に対する意識の高さが根底にあるからだと考えている。しかし警察の力だけで管内の治安維持を図ることは困難な時代を迎えており住民の方の協力が不可欠となっているため、本協議会で皆様の意見を汲み上げて警察行政に反映させていきたい。

(2) 留萌警察署協議会会長挨拶

日頃から留萌署の各種活動により、安心、安全な暮らしが維持できていることに感謝を申し述べる。本日の協議会内容も「警察組織」、「特殊詐欺」、「薬物事犯」と盛りだくさんの内容となっており、たくさんの知識を身につけて安心・安全な地域生活につなげていきたいと考えている。また法改正により9月1日から生活道路の最高速度が引き下げられたが、その点もしっかりと理解を深めていきたい。

5 前回協議テーマの諮問事項に対する取組結果

(1) ヒグマ出没時における広報活動について

警察署ではヒグマ出没時には各自治体と情報共有を行いながら広報活動を実施している。警察署から自治体に呼び掛けを行い、自治体も地元ラジオ局に呼び掛けを行っており、留萌市ではSNSを用いて出没情報を即時発信し、地元ラジオ局で出没情報の放送をしている。また管内の3自治体ともHPで出没情報を掲載し、熊出没場所に注意喚起の看板を設置し、登下校時におけるパトカーによる見回りも実施している。

(2) 自転車の並走について

地元高校に対して自転車の違反行為に対するシミュレーション訓練を実施しており、一部未実施の学年については学校側と調整しながら実施予定である。また管内居住の外国人を対象にした講習を実施し、地元ラジオ局に警察官が出演して自転車の違反行為に関する放送を行っている。

6 業務概況説明

(1) 令和8年1月から7月末までの事件事故発生状況

(2) 令和8年6月から8月末までの活動状況

7 テーマ説明

(1) 警察組織について

(2) 特殊詐欺被害の現状

(3) 北海道における薬物事犯の現状

8 協議事項

(1) テーマ説明「警察組織について」

委員： 交番と駐在所の違いとは。

警察： 交番は三交代制で勤務しており、24時間単位で基本的に毎日違う勤務員が勤務している。対して駐在所は交番と違って基本的に一人の駐在所員が併設する住居に居住して8時間単位で勤務しているが、どちらも地域警察活動や事件・事故の初動措置を行っているという点では変わりがない。

(2) テーマ説明「特殊詐欺被害の現状」

委員： 被害がなくとも特殊詐欺の相談はあるのか。

警察： 金銭の要求文言はないものの「『携帯電話が使えなくなる』といった電話が架かってきた」というような特殊詐欺が疑われる相談は受けている。その際には、相談者が相手に口座情報や住所、氏名等の個人情報伝えてしまったのか否か確認したうえで、親族や付近の住民に不審電話が架かってきたことを知らせるとともに受け子のような不審者が現れた場合は警察通報するようアドバイスしている。

(3) テーマ説明「北海道における薬物事犯の現状」

委員： 北海道に流れる薬物の入手ルートはどこからになるのか。

警察： 実態の解明には至っていないが、末端の使用者を検挙して入手ルートの突き上げを行っている。また税関が国外からの違法薬物の持ち込みを阻止している。

委員： 近年若者の喫煙率は低下しているが、それに伴って違法薬物の摂取率も低下するのではないか。

警察： 喫煙率は下がっているが、シーシャバーが流行っていたり外国人が大麻を吸っている姿に憧れて大麻に手を伸ばすケースもあるため一概に喫煙率の低下と違法薬物の摂取率の低下が連動するとはいえない。

(4) その他

委員： 9月1日から住宅街における制限速度が時速30kmに引き下げられたが、速度制限される道路について説明してもらいたい。

警察： 制限速度が時速30kmに制限されるのは、中央線の設置がない全ての道路が対象となる。しかし中央線が設けられた道路であっても、中央線の標識がなく、かつ、摩耗や積雪等により中央線が見えなくなった場合は、速度規制の対象になる。

9 特殊詐欺対策

委員に対し、いわゆるニセ警察詐欺に関する実際の通話音声やビデオ通話状況を視聴してもらい、特殊詐欺の現状を再認識してもらい警戒心の醸成をはかった。

10 次回開催テーマについて

(1) 人身安全関連事案対策について

夫婦間DVや高齢者虐待事案の現状や対応方法について説明してもらいたい。

(2) 災害警備対策について

本州では大規模地震や大雨災害が発生しているが、管内における災害発生時の現状や発生時の対策について説明してもらいたい。

11 次回開催予定

令和8年11月下旬を予定している。